

# 大学等における修学の支援に関する法律による 授業料減免の対象者の認定の継続に関する申請書

A様式2

(西暦) 年 月 日

小樽商科大学長 殿

私は貴学に対し、大学等における修学の支援に関する法律による授業料減免の継続を申請します。

申請にあたって、私は以下の事項を確認し、理解しています。

◆この申請書の記載事項は事実と相違ありません。なお、申請書の記載事項に事実と相違があった場合、認定を取り消され、減免を打ち切られることがあるとともに、在学する学校において減免を受けた金額の支払を求められることがあることを承知しています。

◆授業料等減免の対象者の認定手続きにおいて、独立行政法人日本学生支援機構（以下、「機構」という。）を通じ、小樽商科大学が機構の保有する私の給付型奨学金に関する情報の送付を受けること及び機構が小樽商科大学の保有する私の授業料等減免等に関する情報の送付を受けることに同意します。

※以下のすべての項目を申請者本人が記入してください。

申請者	フリガナ		入学年月	年 月 日 入学
	氏名			
	生年月日	(西暦) 年 月 日生 ( 歳)		
	現住所	〒 都道府県 市区町村		
	所属学部・学科等	商学部 学科	学籍番号	
	学年	昼間・夜間の別	<input type="checkbox"/> 昼間コース <input type="checkbox"/> 夜間主コース	
	日本学生支援機構の給付型奨学金に関する情報			
給付型奨学金の奨学生番号				

※ 申請書に記載された内容及び提出された書類の情報は、授業料等減免の認定及び本学が実施する経済支援のために利用します。また、今後の授業料等減免制度の検討のため、統計資料の作成に利用する場合がありますが、作成に際しては個人が特定できないように処理します。

※ (重要)

令和元年度に授業料免除を受けていた学生について、本学の追加支援(経過措置)を希望する場合は、前期・後期毎に、追加支援(経過措置)に係る申請が別途必要となります。

詳細は、本学ホームページTOP→「在学生」→「入学料・授業料の免除、徴収猶予」の項目「I. 学部学生の後期授業料免除申込受付(私費外国人留学生及び高等学校卒業後2年を超えて入学した者を除く)」の3-1, 3-2に概要及び申込方法等の記載がありますので、ご確認のうえ、申請書類を提出してください。